

バトンをつなぐ 10月30日

最高の津田中祭でした！

全校生徒がめいっぱい身体を動かした体育の部。
爽やかな秋空の下ではじけた笑顔。
趣向を凝らしての競技に、
全力で挑む生徒たちの姿が嬉しくて、
いつしか本部席を離れて、カメラマンになってしまいました。
そして、午後…

練習を重ねた有志の生徒たちが生(ライブ)の楽しさを伝えてくれた文化の部。
スポットライトを浴びるパフォーマンスは、どれも「本物」として完成し、
友達の熱演に温かい拍手を贈るフロアの生徒たちの優しさにも、
思わず目頭が熱くなりました。

例年通りでの開催が難しいと感じ始めた5月頃から、
時期を変更して内容を縮小削減することになったとしても、
体育・文化どちらの舞台も作り上げてほしいと先生方をお願いしました。

競技内容を工夫し、プログラムを整理し、何度も見直しての本番。
手袋をしての綱引き、距離をとってのフォークダンス、
有志だけでの舞台発表、50分間にしぼっての全校鑑賞、
これまでのやり方を改めたところもたくさんありました。
それでも、よど淀みなく精一杯に活動してくれた生徒たちの姿には、
津田中生の底力を実感し、コロナ禍の中での成長を頼もしく思いました。
終了後の感想からも、
生徒たちの中に、いつもの年と変わらない「充実感」を残せたことを確かめられました。

四半世紀前。当時の生徒たちも、
走り、踊り、応援し、拍手して、彼らの時代の津田中祭を完成させました。
津田中に赴任して3年生を担任した私も、くたくたになるまでいっしょになって楽しんで、
子供たちと「学校っていいなあ。」を確認したものでした。

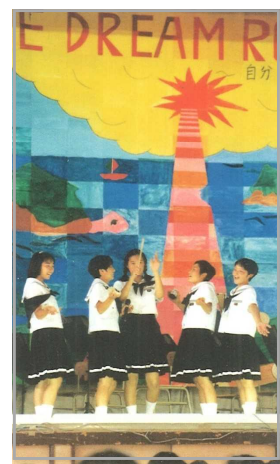
古い卒業アルバムに残されていた笑顔。
デジタルカメラで撮影した目の前の笑顔。
どちらの中にも「青春」が輝いています。
あれから25年を経て、思いがけない災禍さいかの中でも、
津田中祭の伝統が、しっかりリレーされたと感じた一日でした。

最後に…

平日開催にも関わらず、午前中の「体育の部」には、160名余の保護者の方々が来校して、
生徒から少し離れた観戦エリアで、子供たちの活躍する様子を見守って下さいました。
また、「来校カード」の提出など、感染症対策にも快くご協力下さいました。
今一度、心より感謝を申し上げます。



10/16体育の部3年綱引き



1995年文化祭舞台発表



1995年体育祭3年リレー

学校長